



どこでもないところで羽ばたいて

特別企画

ベトナム映画の現在

〜インディペンデント映画の鬼才ファン・ダン・ジー監督によるセレクション〜

特別企画

オリンピック記録映画特集

—より速く、より高く、より強く—



1980年モスクワ大会 ©1980/itm:n#_373644



新型コロナウイルス感染防止のため
下記へのご理解をお願いします。

- 座席数を削減しています。
- 入場にはマスクの着用が必要です。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 鑑賞券はトレイにおいてください。
- 職員はマスク・手袋を着用します。

特別
企画

ベトナム映画の現在

～インディペンデント映画の鬼オファン・ダン・ジー監督によるセレクション～

会期：6月2日(水)～6月13日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

主催：アテネ・フランセ文化センター 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会

共催：ファン・ダン・ジー 在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館

助成：国際交流基金アジアセンター アジア・文化創造協働助成

協賛：九州ベトナム友好協会

協力：あいち国際女性映画祭 秋葉亜子

※各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わたくすクラブ」会員の方は300円。(会員証の提示が必要です。)

ASIA
center
JAPAN FOUNDATION

九州ベトナム友好協会



アナザー・シティ



聖地

2(水) 14:00 / 4(金) 14:00

無人の野

Wild Field



監督：ホン・セン
出演：グエン・トゥイ・アン
ラム・トイ

1979年/35ミリ/モノクロ/94分
ベトナム/日本語・英語字幕付き

ベトナム戦争中、無人地帯とされていたメコンデルタを舞台に、解放軍の連絡員として住んでいる夫婦と幼子の生活を描き出す。身を隠しながら情報収集をしていた彼らを、米軍が執拗に追跡する。モスクワ映画祭で金賞となり、ベトナム映画史上、初めて国際映画祭で最高賞を獲得した作品となった。

4(金) 11:00 / 11(金) 14:00

砂のような人生

Sandy Lives



監督：グエン・タイン・ヴァン
出演：ドン・ズオン
マイ・ホア

1999年/35ミリ/カラー/90分
ベトナム/日本語・英語字幕付き

ベトナムが統一された1975年。主人公のカインは20年ぶりに妻の待つ南部の村に帰ってきた。しかし、離れ離れの長い年月の中で、彼は北部で別の女性と結婚していた。南北分断の長い年月による人々の変化を丁寧に描いた作品。ベトナム映画でしか描けない、慈しむような傑作。

9(水) 14:00 / 12(土) 14:00

メタオ

There was Once a Time When...



監督：ヴィエト・リン
出演：ズン・ニー
ミン・チャン

2002年/35ミリ/カラー/108分
ベトナム/日本語・英語字幕付き

メタオ地方の領主グエンは、民たちからの信頼も厚く尊敬されていた。しかし、婚約者を不慮の事故で失って以降、近代文明の一切を拒否し、まるで人が変わったように振る舞う。20世紀初頭のフランス植民地時代を舞台に、儂い愛の物語が、哀愁を帯びた音楽に乗せて描かれる。ベトナムを代表する女性監督ヴィエト・リン作品。

3(木) 11:00 / 13(日) 11:00

樹上の家

The Tree House



監督：チュン・ミン・クイ
出演：リー・ミー・ノー
ホー・ヴァン・ラン

2019年/デジタル/カラー/94分
ベトナム=シンガポール=ドイツ=
フランス=中国
日本語・英語字幕付き

一台のカメラと録音機を持って2045年の火星に降り立った男。映画制作に取り掛かるうちに、遠く離れた故郷に住む人々に思いを馳せる。長年木の上に住む男性へのインタビューや、アメリカ兵によって撮られた記録映像の断片を織り交ぜながら“家”とは何かを問いかけるドキュメンタリー映画。

5(土) 11:00 / 11(金) 11:00

十月になれば

How I Long for October



監督：ダン・ニャット・ミン
出演：レ・ヴァン
グエン・フー・ムイ

1984年/35ミリ/モノクロ/86分
ベトナム/日本語字幕付き

ズエンのもとに夫の戦死の知らせが届く。彼の帰りを待つ家族を悲しませたくない一心で、彼女は夫からの手紙を偽装して、生きているかのように見せかける。心優しい詩情豊かな作品。ベトナム映画界を代表する巨匠ダン・ニャット・ミン監督の代表作の1本。

10(木) 14:00 / 13(日) 14:00

どこでもないとこで羽ばたいて

Flapping in the Middle of Nowhere



監督：グエン・ホアン・ディエップ
出演：グエン・トゥイ・アン
ホアン・ハ

2014年/デジタル/カラー/102分
ベトナム=フランス=ノルウェー=ドイツ
日本語字幕付き

故郷を離れ、ハノイで大学に通うフエンと労働者のトゥン。ある日フエンの妊娠が発覚したが、経済的に苦しい生活を送る二人は中絶を選択する。女性監督グエン・ホアン・ディエップの監督デビュー作。ナント三大映画祭審査員特別賞など数多くの映画祭で受賞して注目を集めた。

シンポジウム 6/6(日) 13:00~14:15



ゲストはオンラインで参加

「ベトナム映画の歴史的名作から現在まで」 出演：ダン・ニャット・ミン(映画監督)/ファン・ダン・ジー(映画監督)



ダン・ニャット・ミン

1938年、ベトナムのフエ生まれ。ドキュメンタリー映画を制作した後、73年劇映画の監督としてデビュー。84年「十月になれば」がハワイ国際映画祭特別賞を受賞し国際的に注目をあびる。「ニャム」(95年)、「グアバの季節」(00年)など数々の映画祭で受賞している。「きのう、平和の夢を見た」(09年)はアジアフォーカス・福岡国際映画祭で観客賞受賞。前ベトナム映画人協会会長。99年日経アジア賞を受賞するなど、ベトナム映画を代表する巨匠として日本でも知られている。



ファン・ダン・ジー

ハノイの映画学校を卒業後、ベトナム政府の映画局に勤務。5年の在職期間中、ベトナム映画の歴史や現状について見識を深める。06年映画局を辞職。ベトナムでの映画製作の民営化が始まった時期で、海外との資本提携による映画製作が盛になり、ジー監督も自らのプロダクションを立ち上げ「ビー、心配しないで!」(10年)で監督デビューを果たす。「大親父と、小親父と、その他の話」(15年)など映画製作の傍ら、オータム・ミーティングを開催するなど若い監督たちを支援し、ベトナム・インディペンデント映画の中心的存在として活躍している。

※観客は120名まで。開場は開演の30分前。※シンポジウムは有料で、14時30分から上映の「ビー、心配しないで!」とセット料金です。

3(木) 14:00 / 5(土) 14:00

アナザー・シティ *Another City*

監督: ファム・ゴック・ラン
2016年/デジタル/カラー/25分/ベトナム/日本語字幕付き

聖地 *Blessed Land*

監督: ファム・ゴック・ラン
2019年/デジタル/モノクロ/19分/ベトナム/日本語字幕付き

蟻人 *The Ant Man*

監督: ヴィエト・ヴー ※15歳未満鑑賞不可
2018年/デジタル/カラー/26分/ベトナム/日本語字幕付き

常に備えよ *Stay Awake, Be Ready*

監督: ファム・ティエン・アン
2019年/デジタル/カラー/14分/ベトナム/日本語字幕付き

天国にいたる道 *A Trip to Heaven*

監督: スーン・ジウ・リン
2020年/デジタル/カラー/15分/ベトナム/日本語字幕付き

曇天 *Live in Cloud Cuckoo Land*

監督: ヴー・ミン・ギア ファム・ホアン・ミン・ティ
2020年/デジタル/カラー/20分/ベトナム/日本語字幕付き

ベトナム・インディペンデント映画の短編傑作集。作品はファン・ダン・ジー監督の選定。過去のベトナム映画が描いてこなかった切り口とテーマで、ベトナムの現在を、ベトナム映画の未来を担う俊英たちが様々な語り口で描き出す。上映時間は全部で119分。

6(日) 14:30 / 10(木) 11:00

ビー、心配しないで!

Bi, Don't be Afraid!



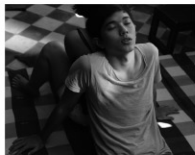
監督: ファン・ダン・ジー
出演: ファン・タイン・ミン
グエン・ティ・クエウ・チン
2010年/デジタル/カラー/92分
ベトナム=フランス=ドイツ
日本語字幕付き
字幕提供: 大阪アジア映画祭

ハノイに住む6歳の少年ビーの家に、重病の祖父がやって来る。それと時期を同じくして両親の関係がうまくいかなくなり、父親は浮気相手のもとへ入り浸るように…。ベトナムニューウェーブを牽引するファン・ダン・ジー監督の初長編映画。監督の少年時代の思い出が込められている。※15歳未満鑑賞不可。

9(水) 11:00 / 12(土) 11:00

大親父と、小親父と、その他の話

Big Father, Small Father, and Other Stories



監督: ファン・ダン・ジー
出演: ドー・ティ・ハイ・イェン
レ・コン・ホアン
2015年/デジタル/カラー/102分
ベトナム=フランス=ドイツ=オランダ
日本語字幕付き
字幕提供: 大阪アジア映画祭

21世紀を迎えるホーチミン市。写真を学ぶヴーはハンサムなルームメイトのタンに惹かれ、ホーチミンの歓楽街の世界を楽しむようになる。やがてタンの友人の娼婦ヴァンとも知り合い3人は三角関係になっていく。ホーチミンに暮らす若者の揺れ動く生活を描いた作品。※15歳未満鑑賞不可。

特別
企画

オリンピック記録映画特集

—より速く、より高く、より強く

会期: 6月16日(水)～6月27日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料: 600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

主催: 国立映画アーカイブ 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会

特別協力: オリンピック文化遺産財団

協力: 日本オリンピック委員会 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

※各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わたすクラブ」会員の方は300円。(会員証の提示が必要です。)



16(水) 13:30 / 27(日) 13:30

1968年 第19回夏季オリンピック メキシコシティ(メキシコ)大会

太陽のオリンピアーメキシコ 1968—

最終聖火ランナーを初めて女性が務めた大会。ディック・フォスベリーによるオリンピック初の背面跳び、男子走り幅跳びポプ・ビーモンの驚異的世界記録、男子200メートル走表彰式など、オリンピック史に残る場面が多数記録されている。日本では1969年、市川崑編集監修の124分版が公開された。

※途中10分間の休憩をはさみます。



©1968/Comité International Olympique(CIO)

監督: アルベルト・イサーク 1969年/デジタル/カラー/160分/日本語・英語字幕付き

17(木) 13:30 / 26(土) 13:30

1984年 第23回夏季オリンピック ロサンゼルス(米国)大会

栄光の16日

米国のグレナダ侵攻を理由として東側諸国がボイコット。スポーツドキュメンタリーを撮っていたグリーンズパンが、オリンピック映画を初めて手掛けた。その後、彼は多くのオリンピック映画を撮ることとなる。世界記録保持者だが負傷が完治せず、決勝で最下位に終わったデイヴィッド・ムーアアクロフト(男子5000メートル走)など選手のインタビューを交えながら、競技への想いが描かれる。



©1984/itm:n#_373644

監督: バド・グリーンズパン 1986年/デジタル/カラー/145分/日本語字幕付き

18(金) 13:30 / 25(金) 13:30

1980年 第22回夏季オリンピック モスクワ(ソヴィエト連邦)大会

スポーツよ、君は平和だ!

ソ連のアフガニスタン侵攻に反対する米国の呼びかけで、西側諸国の多くがボイコットした大会。独ソ戦を描いた大作『ヨーロッパの解放』(1970-71)で知られる監督ユーリー・オゼロフは、国家の威信をかけたこの大会のスケール感を伝える一方、古代オリンピックについて語るチャーミングなアニメーションを随時挿入することで、重量感を適度にやわらげようとしている。



©1980/Comité International Olympique(CIO)

監督: ユーリー・オゼロフ 1981年/デジタル/カラー/149分/日本語・英語字幕付き

19(土) 13:30 / 24(木) 13:30

1992年 第25回夏季オリンピック バルセロナ(スペイン)大会

マラソン

監督は『カラスの飼育』(1975)などで知られるカルロス・サウラ。世界的なテノール歌手、ホセ・カレーラスが音楽監督を務めた開会式は、オリンピック史上屈指のスペクタクル。様々な競技の様子が描かれるが、全篇を貫くマラソンが、すべての競技を包み込み、あらゆるアスリートの苦闘を集約していく特異な構成になっている。



©1992/Comité International Olympique(CIO)

監督: カルロス・サウラ 1993年/デジタル/カラー/130分/日本語・英語字幕付き

20(日) 13:30 / 23(水) 13:30

1964年 第18回夏季オリンピック 東京(日本)大会

東京オリンピック

1940年の開催中止を乗り越えてアジアで初の開催となった東京大会の記録。アスリートたちの心の裡に迫ろうとする姿勢と工夫、一場面に複数のカメラを動員する撮影態勢など、総監督市川崑ならではの創意が全篇を貫き、完成するや「芸術か記録か」の論争を巻き起こした画期的な作品。使用されたカメラは103台、撮影フィルムはの長さは約40万フィート(約74時間)、携わったスタッフは総勢556名と伝えられる。カンヌ国際映画祭で国際批評家賞を受賞した。※途中10分間の休憩をはさみます。

総監督: 市川崑 1965年/デジタル/カラー/170分/英語字幕付き



1 火		休館日
2 水		14:00 無人の野
3 木	11:00 樹上の家	14:00 アナザー・シティ 他
4 金	11:00 砂のような人生	14:00 無人の野
5 土	11:00 十月になれば	14:00 アナザー・シティ 他
6 日	13:00~14:15 シンポジウム	14:30 ビー、心配しないで!
7 月		休館日
8 火		休映日
9 水	11:00 大親父と、小親父と、その他の話	14:00 メタオ
10 木	11:00 ビー、心配しないで!	14:00 どこでもないところで羽ばたいて
11 金	11:00 十月になれば	14:00 砂のような人生
12 土	11:00 大親父と、小親父と、その他の話	14:00 メタオ
13 日	11:00 樹上の家	14:00 どこでもないところで羽ばたいて
14 月		休館日
15 火		休映日
16 水	13:30 1968年 夏季 メキシコシティ大会 太陽のオリンピック—メキシコ1968—	
17 木	13:30 1984年 夏季 ロサンゼルス大会 栄光の16日	
18 金	13:30 1980年 夏季 モスクワ大会 スポーツよ、君は平和だ!	
19 土	13:30 1992年 夏季 バルセロナ大会 マラソン	
20 日	13:30 1964年 夏季 東京大会 東京オリンピック	
21 月		休館日
22 火		休映日
23 水	13:30 1964年 夏季 東京大会 東京オリンピック	
24 木	13:30 1992年 夏季 バルセロナ大会 マラソン	
25 金	13:30 1980年 夏季 モスクワ大会 スポーツよ、君は平和だ!	
26 土	13:30 1984年 夏季 ロサンゼルス大会 栄光の16日	
27 日	13:30 1968年 夏季 メキシコシティ大会 太陽のオリンピック—メキシコ1968—	
28 月		休館日
29 火		休映日
30 水		休館日

ベトナム映画の現在

今回の企画「ベトナム映画の現在」は、国際交流基金アジアセンターのアジア文化創造協働助成事業ですが、在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館及びアテネ・フランセ文化センターとの共催でなければ実現できないものでした。特に多忙でありながらプログラミング等に尽力していただいたファン・ダン・ジー監督には、多大なご協力をいただきました。「アナザー・シティ」等のインディペンデント短編映画集はジー監督によるプログラミングです。本プログラムを含む短編全11本が福岡市総合図書館に寄贈されており、これはジー監督のご協力によるものです。また今回上映する「ビー、心配しないで!」と「大親父と、小親父と、その他の話」もジー監督から寄贈いただいたものです。

ご協力いただいた関係各位にこの場を借りて謝辞を申し上げますと共に、ベトナム映画の古典的名作から現代の最前線のインディペンデント映画まで、多様なベトナム映画の魅力をご覧いただければ幸いです。



映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラでは自主上映(非営利に限る)を希望される方について、下記のとおり申し込みの受付を行います。

利用申し込み対象期間 令和3年12月~令和4年5月

※別途配布の申込み用紙に対象日を記載しています。

申込み受付期間/令和3年5月23日(日)~令和3年6月11日(金)

※休館日を除く

抽選日/令和3年6月19日(土)午前11時より

抽選会場/福岡市総合図書館3階 第5研究室

利用申込書/福岡市総合図書館で配布中の申込用紙をお出しください。

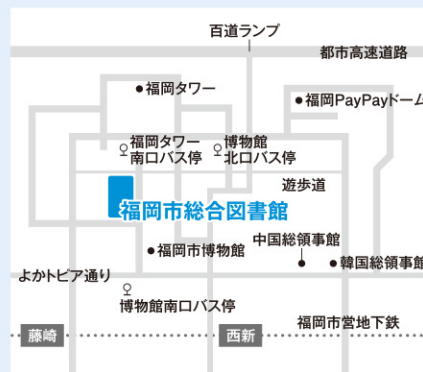
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター(tel.0570-00-1010)に直接お問い合わせください。